



第34回 市教組定期大会、開催される！NO.7

今大会の討論の続きです。

松田代議員の討論

「女性部活動」について討論に参加します。

現在、女性部常任委員は11名、ここ数年若い顔ぶれが増えています。それはどうしてなのかを考えると、この女性部の集まりが日々の職場で抱えている悩みや本音を語り合う中で共感してもらう、それが活力になっている場だからだといえます。

そしてこの輪をもっと広げたいと考えたのがみなさんご存じの「フラワーアレンジメント」「自力整体」「アロマ体験」など自分をとりもどす時間をつくろうと呼びかけた企画です。大島女性部長になって、夜に参加しにくい人のために土曜日の昼間も開催しては・・・と新風を吹き込んでくれたことで、男性の参加もぐんと増えました

そこで私もこの女性部で長年活動してきた経験からこの場をかりて、とりくみのアイデアがあります。ここ北九州市には「平和のまちミュージアム」があります。せっかくのこの施設を育てていくためにもミュージアムや勝山公園などの平和フィールドワークを計画してみてもはどうでしょう。なぜそう思ったかというと、以前同学年をした小さなお子さんをもつ先生がウクライナやガザの惨状を見て、『我が子があんな目にあったら私も一緒に死にます。この現実を前にして自分は思考停止になる。』と話されたことです。子どもたちの命が奪われている悲惨な現実をどうとらえ、どう考えていくか！女性部の原点、組合の原点を忘れないとりくみをつくっていかねばと切に思います。みなさんと共に私もうまいます。



瑞木代議員の討論

今年度教務として、教育委員会と話をした。(タイムマネジメント課長訪問時) そこで課長から「先生がしている行教改善は？」と問われた。行務改善とは、個人でするものなのか？本来は、教育委員会が具体的な方針を示すものなのに。各学校、各個人にそれを望むのは、おかしいこと。

それなら、今の立場からできることは、職場の仲間との関係をよりよくする。(1日1回、先生方と楽しい会話をすることで、おかしいことはおかしい、減らせる業務は減らしていこう、という雰囲気を作れたらと思っている。自分にできることは何なのか、自分自身に問いかけながら行動していきたい。



安永代議員の討論

会計年度任用職員（非正規職員）について。勤務形態・勤務時間もバラバラ。孤立しがち。

「会計年度任用職員おしゃべり会」を昨年開催したが、参加者はとても喜んでいて。この問題を正面から取り上げる組合の取り組みは先駆的。病休が有給になったこともさらに喜ばしいこと。声を上げ続けた成果。しかし1年契約という問題。雇い止めに対する不安など、安心して生活できない、物が言いにくいのが現実である。この業種は教員の働き方改革によって生まれた仕事。会計年度任用職員の学習会が必要。教育現場で働く全ての労働者が、それぞれの問題を共有することが大切。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL(093)953-0381

